

平成24年度

高知大学大学院総合人間自然科学研究科

医学専攻（博士課程）

<第3次募集>

学生募集要項

（一般選抜・社会人特別選抜）



高 知 大 学

目 次

| | | |
|---|--------------------|---|
| 1 | 募 集 人 員 | 1 |
| 2 | 出 願 資 格 | 1 |
| 3 | 出 願 手 続 | 2 |
| 4 | 選 抜 方 法 等 | 4 |
| 5 | 受 験 上 の 注 意 事 項 | 4 |
| 6 | 合 格 者 発 表 | 5 |
| 7 | 入 学 手 続 | 5 |
| 8 | そ の 他 | 5 |
| 9 | 高知大学医学部のホームページアドレス | 6 |

大学院案内

| | | |
|----|-----------------------|----|
| 1 | 目 的 | 7 |
| 2 | アドミッションポリシー | 9 |
| 3 | 学 生 定 員 | 10 |
| 4 | 社会人特別選抜の実施 | 10 |
| 5 | 研究指導教員及び主たる研究内容 | 11 |
| 6 | 履 修 方 法 | 15 |
| 7 | 修 了 要 件 | 16 |
| 8 | 入学料，授業料の免除等 | 16 |
| 9 | 奨 学 金 制 度 | 16 |
| 10 | 学生教育研究災害傷害保険 | 16 |
| 11 | 総合情報センター（図書館）医学部分館の利用 | 16 |
| 12 | アパート・マンション等 | 16 |
| 13 | 修了後の進路状況 | 17 |
| 14 | その他 | 17 |
| | 別表 授業科目一覧表 | 18 |
| | 高知大学医学部案内図 | 21 |
| | 本学への交通経路 | 22 |
| | 高知大学医学部配置図 | 23 |

学 生 募 集 要 項

1 募 集 人 員 20 人 程 度 (「社会人特別選抜」を含みます。)

| 専 攻 | コ ー ス | 人 員 |
|---------|-------------------------------|-------|
| 医 学 専 攻 | 生命科学コース 医療学コース 情報医療学コース | 20人程度 |

2 出 願 資 格

(1) 一般選抜

出願資格は次の各号の一に該当する者とします。

ただし、外国人留学生については、外国の国籍を有する者で日本における在留資格が本学の入学に支障がない者とします。

- ① 大学の医学部医学科，歯学部又は修業年限6年の獣医学を履修する課程を卒業した者及び平成24年3月までに卒業見込みの者
- ② 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位（専攻分野は医学，歯学又は獣医学）を授与された者及び平成24年3月までに授与される見込みの者
- ③ 外国において，学校教育における18年の課程（最終の課程は医学，歯学又は獣医学）を修了した者及び平成24年3月までに修了見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における18年の課程（最終の課程は医学，歯学又は獣医学）を修了した者及び平成24年3月までに修了見込みの者
- ⑤ 我が国において，外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における18年の課程（最終課程は，医学，歯学又は獣医学）を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成24年3月までに修了見込みの者
- ⑥ 大学院研究科において修士課程を修了した者及び平成24年3月までに修了見込みの者等文部科学大臣の指定した者（昭和30年文部省告示第39号）
- ⑦ 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって，研究科において，大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- ⑧ 大学（医学，歯学又は獣医学を履修する課程に限る。）に4年以上在学した者及び平成24年3月末時点で4年以上在学見込みの者，又は外国において学校教育における16年の課程（医学，歯学又は獣医学を履修する課程を含むものに限る。）を修了した者及び平成24年3月末時点で16年の課程を修了見込みの者で，本学大学院において，所定の単位を優れた成績をもって修得したと認めたもの
- ⑨ 本学大学院において，個別の入学資格審査により，大学の医学，歯学又は修業年限6年の獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，24歳に達したもの及び平成24年4月1日までに24歳に達するもの

(注) 出願資格が上記⑦，⑧又は⑨による場合の者及び外国人留学生は，事前に出願資格の確認を行いますので，あらかじめ本学医学部入試担当(TEL 088-880-2295)まで照会してください。

出願資格審査について

出願資格⑦，⑧又は⑨により志願する者は，あらかじめ本学医学部入試担当で所定の用紙を受け取り，次の書類を**平成 24 年 2 月 8 日（水）（必着）**までに本学医学部入試担当へ提出又は郵送してください。（書留郵便で封筒の表に出願資格審査申請」と朱書）なお，出願資格審査の出願に際しては，志望する指導教員に照会のうえ出願してください。

資格審査を行い，その結果は**平成 24 年 2 月 14 日（火）**に本人に通知します。

- ① 出願資格認定申請書（本学所定の用紙）
- ② 大学卒業証明書
- ③ 大学成績証明書
- ④ 研究歴証明書（本学所定の用紙）
- ⑤ 研究業績調書（本学所定の用紙）
- ⑥ 返信用封筒（定形長形 3 号の封筒に 350 円切手を貼付し，住所・氏名を記入したもの）

(2) 社会人特別選抜

社会人特別選抜に出願することができる者は，前記(1)の出願資格のいずれかに該当する者で，医療機関，教育・研究機関，企業などに勤務している者又は入学直後に勤務することが見込まれる者で，入学後もその身分を有し，所属長の受験許可を得ることが可能な者

3 出願手続

(1) 願書の受付期間

平成 24 年 2 月 28 日（火）～ 3 月 1 日（木）（17 時必着）

(2) 出願書類の提出方法

① 直接提出する場合

9 時から 17 時まで受け付けます。（**時間を厳守してください。**）

直接提出する場合も，本要項添付の「提出書類郵送あて名書き用紙」を封筒にのりづけしてください。

② 郵送による場合

本要項添付の「提出書類郵送あて名書き用紙」を封筒（角形 2 号）にのりづけして，書留・速達郵便で**平成 24 年 3 月 1 日（木）17 時（必着）**までに出してください。

（書留・速達郵便以外の方法で送付された場合は，下記入試担当まで電話連絡をお願いします。）

なお，出願に際しては，あらかじめ志望するコースの研究指導教員に照会のうえ，出願してください。

(3) 出願書類の提出先

〒783-8505 高知県南^{なんこくし}国^{おこう}市^{ちようこ}岡^{ほす}豊^す町小蓮
高知大学医学部入試担当
(電話 088-880-2295)

(4) 出願書類等 (* 所定の様式)

| 出願書類 | 摘要 |
|-------------------------------|--|
| ① 入学願書* | (様式) 所要事項を記入してください。 |
| ② 受験票・写真票* | (様式) 所要事項を記入し、写真(縦4cm×横3cm)は上半身、脱帽、正面向きで出願前3か月以内に撮影したものを2枚(同じもの)所定の欄に貼付してください。 |
| ③ 成績証明書 | 出身大学(学部)長が作成し厳封したものとします。 |
| ④ 卒業(修了)証明書又は卒業(修了)見込証明書 | 1通 ※改姓している場合は、「婚姻により(旧姓)から(新姓)になった」などのように、記載してください。 |
| ⑤ 受験許可書* | (様式) 社会人選抜 当該所属長の受験許可書を提出してください。 |
| ⑥ 入学検定料 (入学検定料払込証明書*) | 30,000円(国費外国人留学生及び平成24年3月に高知大学大学院修士課程修了予定者は不要です。) 本要項添付の「入学検定料払込用紙」により郵便局・ゆうちょ銀行に払込み、入学検定料払込証明書(様式)に「振替払込受付証明書」(郵便局・ゆうちょ銀行で受付局日附印を押印してもらったもの)を貼付してください。(納入した入学検定料はいかなる理由があっても返還しません。) |
| ⑦ 登録原票記載事項証明書 (外国人留学生のみ提出) | 市区町村長発行の証明書を提出してください。 |
| ⑧ 住所シール* | (様式) 合格通知受信用 郵便番号、住所、氏名を記入してください。 |
| ⑨ 受験票送付用封筒 | 長形3号(12cm×23.5cm)の封筒に350円切手(速達)を貼り、郵便番号、住所、氏名を明記し提出してください。 |

(注) ア 出願書類に不備がある場合には受理しないことがあります。

イ 出願手続後の提出書類の内容変更は認めません。ただし、連絡先の変更は、直ちに本学医学部入試担当まで申し出てください。また、いったん受理した出願書類等は返還しません。

ウ 提出書類の記載事項が事実と相違していることが判明した場合は、入学許可を取り消すことがあります。

エ 外国人留学生については、出願書類等に若干異なる部分がありますので、事前に本学医学部入試担当に問い合わせてください。

オ 「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」に基づき、本学入学者選抜に用

いた個人情報については、入学手続、入学者選抜に係る調査・研究等及び就学に係る用途のみに使用し、他の目的に利用または提供することはありません。

ただし、合格者に限り提出の住所を利用して大学からの連絡を行うことがあります。

4 選 抜 方 法 等

入学者の選抜は、学力試験の結果及び成績証明書を総合評価し、合格者を決定します。

(1) 学力試験

| 試験日 | 時 間 | 科 目 | 備 考 |
|---------------|------------|---------------|---------------------------------------|
| 平成24年3月14日(水) | 9:30~12:00 | 英 語 | 筆記試験 (翻訳に関する辞書のみ持ち込み可。ただし、電子辞書は不可) |
| | 13:30~ | 志望コース 関連試験 | 口頭試問又は筆記試験 |

(注)

- ① 筆記試験英語の試験室、志望コース関連試験の開始時刻・場所については、受験票送付時に志願者全員にお知らせします。

(2) 試験場

高知大学医学部 高知県南国市岡豊町小蓮^{なんこくしおこうちようこはす}

5 受験上の注意事項

- (1) 試験場への道順、交通機関等については、21~23 ページに記載してあります。
- (2) 各試験開始後 30 分以上遅刻した場合は受験できません。
- (3) 試験当日は、必ず受験票を持参し提示してください。受験票を紛失したり当日忘れた者は、試験実施本部に出向き、係員に申し出てください。

試験場内での携帯電話、PHS等の使用は禁止します。それらの機器を試験場内に持ち込む場合は、あらかじめ電源を切っておいてください。

机の上に置けるものは、黒鉛筆、シャープペンシル(黒)、消しゴム、鉛筆削り、時計(計時機能だけのもの)、辞書(翻訳に関するもの。ただし、電子辞書は不可)のみです。その他のものは、指定の場所に置いてください。※試験室に時計はありません。

6 合格者発表

平成24年3月22日(木)16時に高知大学総合情報センター(図書館)医学部分館前(時計台下)の掲示板に受験番号を掲示するとともに、合格者には、合格通知書を郵送します。**(電話等による問い合わせには一切応じません。)**

また同時に、医学部のホームページにおいても、合格者の受験番号を掲載しますが、必ず合格通知書をもって確認してください。

医学部ホームページアドレス <http://www.kochi-ms.ac.jp>

7 入学手続

合格者は、次のとおり入学手続を行ってください。なお、入学手続についての詳細は、合格通知書と同時に送付します。

(1) 入学手続期間

平成 24 年 3 月 23 日(金) ~ 3 月 28 日(水)17 時まで(必着)

直接持参する場合の受付時間は、9 時から 17 時まで。(土日・祝日を除く)

郵送する場合は、書留・速達郵便により入学手続最終日の 17 時までに必着するように送付してください。(手続期間後に到着した場合は受理できません。)

(2) 提出書類 本学所定の書類(上記合格通知書と同時に送付します。)

(3) 入学手続時等に要する経費(国費外国人留学生を除きます。)

① 入学料 282,000 円

(平成 24 年 3 月に高知大学大学院修士課程修了予定者は不要です。)

② 授業料 前期分 267,900 円(年額 535,800 円)

○注意事項

1) 入学料は入学手続時に、授業料前期分は平成 24 年 4 月中にそれぞれ納付してください。授業料は、本学指定の金融機関からの口座引き落としとなります。

2) 入学料の免除又は徴収猶予を希望する者は、入学手続に先立って申し出てください。なお授業料についても免除制度及び徴収猶予制度があります。

入学料・授業料の納付後は、免除等申請ができません。(問い合わせ先 = 高知大学医学部・病院事務部 学生課 奨学・保健担当 TEL088-880-2529)

3) 本学には、大学院生を対象とした「学業等成績優秀者授業料免除制度」があります。選考方法等は研究科各専攻により異なりますので、詳細については、入学後に学生課窓口にお問い合わせください。

4) 既納の入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

5) 入学料及び授業料について改定が行われた場合には、改定時から新入学料及び新授業料が適用されます。

(4) 手続場所 高知大学医学部入試担当(講義棟 1 階)

8 その他

(1) 受験票は、願書の受付期間終了後送付します。

平成 24 年 3 月 9 日(金)までに到着しない場合は、医学部入試担当に電話等で照会してください。

(2) その他、入学試験についての照会は、下記あてに行ってください。なお、郵送による照会は、返信用封筒(郵便番号、住所、氏名を明記し、80 円切手を貼付)を同封してください。

〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮
高知大学医学部入試担当
(電話 088-880-2295)

9 高知大学医学部のホームページアドレス

大学院の入試情報等を提供しています。

<http://www.kochi-ms.ac.jp>

大 学 院 案 内

1 目的

総合人間自然科学研究科医学専攻（博士課程）では、高い倫理観と豊かな人間性の涵養ならびに高度な医学的知識と技能の習得を教育理念とし、黒潮圏総合科学専攻、応用自然科学専攻との緊密な連携の下に、両専攻における自然科学と人間科学のパラダイムをも取り入れた教育研究体制を構築することにより、高知県の地域特性に根差した医学・医療の推進に寄与できる人材、国際的に通用する優れた医学研究者、リサーチマインドを持つ優れた臨床専門医（良医）を養成し、多様な社会的ニーズに対する柔軟な対応が可能で、底辺が広くレベルが高い医学研究および医療の達成を目的とする。

生命科学コース

生命科学・医学に関する幅広い知識と高度な技術を体系的かつ組織的に身につけることにより、自立して研究活動を行うに必要な高度な研究能力とその基盤となる豊かな学識及び人間性並びに多様化した研究に対する指導能力を備えた人材を育成し、もって生命科学・医学の進歩と人類福祉の向上に資することのできる人材を育成します。

豊かな人間性、高い倫理観ならびに高度な専門的知識・技術を身につけ、21世紀の人間社会に貢献できる人材を育成します。

高度な研究能力と豊かな学識に裏打ちされた創造性豊かな人材を育成します。

研究の成果を新しい医療に応用するという視点を持ち、トランスレーショナルリサーチを推進できる人材を育成します。

国際的な場での発表、討論、共同研究を推進することにより、国際的に活躍できる優れた人材を育成します。

東アジアをはじめとする海外からの留学生を積極的に受け入れ、将来を嘱望される研究者を育成するとともに、留学生との交流を通じて国際的な視野を持った人材を育成します。

医療学コース

科学の目覚ましい進歩は生命科学・医学の領域でも著しいが、その終局の目的は研究成果が人間に還元されることにあります。還元の間である医療の現場では、医学というサイエンスに基づいた知識とアートとして熟練された臨床技術の両者が融合した医療技能による医療の実践が求められ、同時に、この実践を支える基盤としての医師・患者関係や医療システムの在り方が重要な意義を持つこととなります。

本コースには、これらの課題に対応するため「臨床研究・臨床技術系」および学際的な研究をめざす「予防医学・保健医療学系」の2つの系を設けています。

「臨床研究・臨床技術系」においては、臨床技術の客観的評価を設けた体系的な教育・研修プログラムを基盤とし、さらに臨床の現場で生じる課題に対する研究を通じて、リサーチマインドと高度な臨床技術を備えた医療技術者を養成し、また、「予防医学・保健医療学系」においては、臨床の場から生まれる問題をテーマとし、高度な医療技術の推進に資する研究者の育成を図ります。

「臨床研究・臨床技術系」では、医学・医療学領域において、豊かな人間性への理解と高い倫理性を持ち、医療現場から生じる医学的問題を鋭敏に感知して的確に解決する研究者を育成します。

また、豊かなリサーチマインドと的確な問題解決方法と能力、及び高い臨床技能を具備した専門医を育成します。

さらに、臨床医療において優秀な後進を育成する優れた指導者としての能力を有する人材を育成します。

「予防医学・保健医療学系」では、疫学、地域医療学、環境医学などの予防医学の専門家を育成する一方、健康医療・福祉に関連する社会的サービスや運営・管理、行政などの諸領域において、豊かな人間性と高い倫理性とともに強いリサーチマインドと的確な問題解決方法と能力、そして高度の専門的知識と技術をもって活躍し、さらに優秀な後進を育成する優れた指導者能力を有する人材を育成します。

両系を通じて、社会人を積極的に受け入れ、近年の医療学分野における急激な技術革新および社会構造の変化に対応し得る人材を育成します。

情報医療学コース

現在多くの医療施設に導入されている医療情報システムには、日々の医療行為に伴う膨大な電子化医療データが蓄積されています。これらのデータは、直接の診療に使われるだけでなく、多数の症例の横断的な解析に基づく医学研究においても、「病態予測」、「治療評価」、「診断支援」、「稀な事象の検出」などに活用されることが期待されています。

そうしたデータ活用のためには、病態をデータに基づいて理解するための医学的知識と、データと病態の関係を、不確実性をも含めて定量的に記述するための数理統計学的な知識や情報科学の知識などを身につけ、それらを自在に駆使して医療データの解析に対応できる人材が必要です。

本学医学部では、我が国初の病院情報システムとして自主開発された総合医療情報システムに1981年以来蓄積されたデータが、個人情報情報を匿名化した上で教育・研究用にデータベース化されています。本コースでは、このデータを大学院教育に活かし、医学専攻の基礎医学、臨床医学、医療情報を専門とする教員および応用自然科学専攻の教員の緊密な連携のもとに、電子化医療データの解析に対応できる能力を身につける教育を行います。こうした教育により育成された人材が、様々な医療機関における電子化医療データを活用した病態推移予測や疾患因子発見などを通じて、疾病に対する後追いの医療ではない予見性の医療の実現に貢献することや、医療の質向上へ貢献することを目指します。

このように「情報医療学」コースは、「単に医療における情報を扱うのではなく、情報を活用して新たな医療の地平を切り拓くことができる」人材を育成することを目的としています。

上記の目的を達成するために、医学部、歯学部、修業年限6年の獣医学を履修する過程や医学系大学院修士課程出身者の他、理系の修士課程修了者、経済学系大学院の修士課程で計量経済学、医療経済学などを専攻し数学的基礎を身に付けた学生も対象に、次のような人材を育成します。

豊かな人間性と高い倫理観を持ち、医学研究における倫理規範や法規範に基づく手順を遵守

したデータ解析を行い，その結果によって社会に貢献できる人材を育成します。

広く豊かな学識と分野横断的な思考法を身につけ，高い研究能力によって大学や研究機関等で国際的に活躍できる人材や高度な専門職業人として医療機関，企業などで活躍できる柔軟な応用能力を有する人材を育成します。

研究の成果を医療に応用するという視点を持ち，トランスレーショナルリサーチを推進できる人材を育成します。

2 アドミッションポリシー

総合人間自然科学研究科医学専攻（博士課程）では，その設置理念・目的に基づき次のような人を求めます。

生命科学コース

- (1) 医学の分野に限らず，広い学問領域において高い基礎学力を身につけた人
- (2) 研究の成果を新しい医療に応用するという視点を持ち，トランスレーショナルリサーチを推進しようとする人
- (3) 国際的な視野に立って研究を推進しようとする人
- (4) 社会人として勤務しながら生命科学分野の研究に取り組む熱意と能力をもった人
- (5) 全人的医療を理解し，研究を通して社会との連携や国際交流・協力を推進しようとする人

医療学コース

- (1) 社会のニーズを適切に把握し，先端的医療への応用を目指した研究を展開しようとする人
- (2) 国際的に活躍する医学・医療分野の研究者を志す人
- (3) 人間の健康や疾病に関わる問題を，生物学的，物理・化学的環境要因さらには社会的，精神的環境要因あるいは法制度や情報システムなどの面で探索し，解決するための研究を展開しようとする人
- (4) 高度な専門的知識と技能を身につけた専門医を志す人
- (5) 研究によって地域保健，環境保健，国際保健，精神保健，法医学の現場に貢献しようとする人，あるいは将来，国内外の保健・医療・福祉分野における高度な教育・研究に携わる意思のある人
- (6) 自然科学から人文社会科学にわたるあらゆる分野の出身者が，それまで培われた知見や研究内容の特徴を生かし，学際性分野の発展に寄与しようとする人
- (7) 社会人として勤務しながら医学・医療・予防医学・保健医療分野の研究に取り組む熱意と能力をもった人

情報医療学コース

- (1) 電子化医療データの解析による新たな規則等の発見や病態推移予測のモデル構築等を通じた医学研究の推進に興味のある人。
- (2) 電子化医療データの解析による「治療評価」，「診断支援」，「稀な事象の検出」などを通じて医療の質の向上へ貢献することに興味のある人。

- (3) 電子化医療データの解析によって得られた知見を，疫学的あるいは臨床的な研究に応用してより精度の高い結果へ発展させることに興味のある人。
- (4) 電子化医療データの解析による病態推移予測のモデル構築やその応用を通じて予防医学に寄与し社会への貢献を目指す人。
- (5) 電子化医療データの解析による新たな規則性等の発見手法や「治療評価」，「診断支援」，「稀な事象の検出」の手法，病態推移予測等のモデルによる解析手法などを身につけ，臨床検査機器メーカーや製薬企業等の医療系企業での活躍を目指す人。
- (6) 電子化医療データの解析手法を身につけ，医療機関に蓄積された電子化医療データに応用することによって，その施設の医療の質向上などに貢献したい人。
- (7) 集団基盤的な医学研究の新しい分野を開拓し発展させる意欲のある人。

3 学生定員

| 入学定員 | 収容定員 |
|------|------|
| 30人 | 120人 |

4 社会人特別選抜の実施

総合人間自然科学研究科医学専攻（博士課程）では，医学，医療関係分野等で勤務する社会人に対して高度の知識，研究能力を修得する機会を与えるための，夜間その他特定の時期に授業・研究指導を行う教育方法の特例による「昼夜開講制」を導入し，この制度を基に，社会人特別選抜を実施しています。

〔大学院設置基準（昭和49年文部省令第28号）第14条に定める教育方法の特例を適用〕

総合人間自然科学研究科医学専攻（博士課程）の修業年限は4年を標準とします。

ただし，入学時に修業年限をあらかじめ最大4年間延長した形で修学スケジュールを設定することができます（長期履修学生制度）。この場合の授業料は標準修業年限の4年間の授業料と同じです。

5 研究指導教員及び主たる研究内容

生命科学コース

〔注〕

| コース | 研究指導教員 | 所属講座等 | 主たる研究内容 | 文系 | 理系 |
|---------|--------|------------------|--|----|----|
| 生命科学コース | 由利 和也 | 解剖学 | 神経情報伝達系とステロイドホルモン 脳の性差のメカニズム | | |
| | 降幡 睦夫 | 病理学 | ヒト腫瘍の発生進展機構の分子生物学的及び病理形態学的解析 腎炎に関連する循環動態異常の解析 | | |
| | 李 康弘 | 病理学 | 腫瘍の病理学と遺伝学 | | |
| | 椛 秀人 | 生理学 | 神経可塑性の分子機構の研究 生殖機能の中枢性調節機構の研究 | | |
| | 佐藤 隆幸 | 生理学 | 循環制御機構の解明と機能再建 | | |
| | 本家 孝一 | 生化学 | 糖鎖と脂質の分子生物学 | | |
| | 麻生 悌二郎 | 遺伝子機能解析学 | 転写制御の機構の解析 ヒト発癌の機構の解析 | | |
| | | 生体分子構造学 | | | |
| | 横谷 邦彦 | 薬理学 | 生体情報伝達物質と受容体の研究 自律神経機能の脳統御機構の研究 | | |
| | 大畑 雅典 | 微生物学 | 多剤耐性細菌感染症に対するバクテリオファージ療法の開発研究 ウイルス感染による発癌メカニズムの解明と腫瘍細胞に及ぼす影響 血液造血器腫瘍の病態解明 | | |
| | 宇高 恵子 | 免疫学 | T細胞による自己,非自己認識,腫瘍特異免疫の分子基盤 | | |
| | | 総合研究センター | | | |
| | 吾妻 健 | 基礎看護学 (環境保健学) | 人獣共通感染症コントロールのための新規創薬開発に関する研究 人獣共通感染症に関する環境保健医療学的研究 高齢者のQOL向上に関する介入研究並びに測定尺度の信頼性と妥当性に関する統計学的研究 | | |

〔注〕 については、医学部医学科又は歯学部以外出身者の受け入れ可能を表します。

医療学コース

〔注〕

| コース | 研究指導教員 | 所属講座等 | 主たる研究内容 | 文系 | 理系 |
|--------|--------|--|--|----|----|
| 医療学コース | 西原 利治 | 消化器内科学 | 自己免疫性肝疾患，非アルコール性脂肪肝炎，炎症性腸疾患，消化器癌の発症機構と治療 | / | |
| | 寺田 典生 | 内分泌代謝・腎臓内科学 | 腎疾患，腎機能の病態生理に関する研究と新規治療法の開発，視床下部・下垂体・副腎皮質ホルモンの調節機構と病態に関する研究，糖尿病性血管障害の関連因子の分子遺伝学 | / | |
| | 藤本 新平 | 内分泌代謝・腎臓内科学 | 糖尿病におけるインスリン抵抗性に関する研究，糖尿病におけるインスリン分泌障害に関する研究，糖尿病における脂質代謝異常と血管合併症に関する研究，糖尿病における病態栄養学・療養行動に関する臨床研究 | / | |
| | 横山 彰仁 | 血液・呼吸器内科学 | 気道疾患および間質性肺炎の病態解析と新規治療の開発 新規バイオマーカーの開発 | / | |
| | 土居 義典 | 老年病・循環器・神経内科学 | 心筋症の成因および病態，および動脈硬化と臓器障害に関する研究，加齢と動脈硬化の疫学研究 | / | |
| | 佐野 栄紀 | 皮膚科学 | 乾癬における表皮角化細胞のシグナル伝達機構，表皮バリアーと免疫応答，皮膚発癌機構に関する研究 | / | |
| | 清水 恵司 | 脳神経外科学 | 脳腫瘍に対する遺伝子・分子標的治療の開発的研究，神経胚細胞の分化誘導と脳神経疾患への治療法の開発，術前・術中機能評価検査に基づく脳機能マッピングおよびそれに基づく Brain-Machine Interface (BMI) の開発的研究 | / | |
| | | 小児思春期医学 | | / | |
| | 井上 新平 | 神経精神科学 | 重度精神疾患の地域ケアに関する研究，心理教育的家族療法の研究 | / | |
| | 谷 俊一 | 整形外科 | 脊椎・脊髄障害の病態と治療に関する研究 脊椎生体材料の開発，川ピリテ-ション福祉機器の開発 | / | |
| | 深谷 孝夫 | 産科婦人科学 | 生殖機能とメト-ン，再発と腫瘍免疫，エストロゲンと骨・脂質代謝，子宮内膜症における免疫学的応答 | / | |
| | 福島 敦樹 | 眼科学 | 眼免疫疾患（自己免疫疾患，アレルギー）の発症機構の解析，あたらしい治療法の開発 | / | |
| | 兵頭 政光 | 耳鼻咽喉科学 | 嚥下障害の病態評価と治療，音声障害に対する新規治療法の開発，頭頸部癌に関する疫学的アプローチ | / | |
| | 山本 哲也 | 歯科口腔外科学 | 口腔および唾液線癌に対する分化・アポトーシス誘導に関する研究，口腔粘膜疾患の病因に関する免疫学的研究 | / | |
| | 横山 正尚 | 麻酔科学 | 侵襲とストレス・免疫反応，疼痛の機序解明と遺伝子治療，集中治療における EBM の確立 | / | |
| 小川 恭弘 | 放射線医学 | 癌に対する放射線治療の基礎的および臨床的研究，乳癌の画像診断と乳房温存療法，癌に対する治療効果の画像評価 | / | | |

〔注〕 については，医学部医学科又は歯学部以外出身者の受け入れ可能を表します。

〔注〕

| コース | 研究指導教員 | 所属講座等 | 主たる研究内容 | 文系 | 理系 |
|--------|------------------|--|--|----|----|
| 医療学コース | 花崎 和弘 | 外科学 (外科1) | 肝・胆道・膵癌の病態および外科治療の研究 | | |
| | 渡橋 和政 | 外科学 (外科2) | 安全性・確実性向上を目的とした術中画像診断, 抗がん剤感受性に基く治療ナビ, 再建グラフトの灌流評価に関する研究 | | |
| | 執印 太郎 | 泌尿器科学 | 癌遺伝子, 癌抑制遺伝子の解析による尿路腫瘍の発生進展機構の解析, 尿路感染症 | | |
| | 杉浦 哲朗 | 病態情報診断学 | 病態診断学, 循環生理, 動脈硬化, 感染症の病態診断に関する研究 | | |
| | 瀬尾 宏美 | 医療学(予防医学・地域医療学分野) 総合診療部 | 急性冠症候群, 内因性心肺停止への介入および疫学的研究, 高齢者のケアとQOLの疫学的研究 | | |
| | 橋本 良明 | 法医学 | 外傷病理, 医原性損傷, 内因性急死, 法遺伝学, アルコールに関する研究 | | |
| | 宮村 充彦 | 薬剤部 | 薬物動態学, 天然物化学, 天然資源の医療への応用, 中国・日本における伝統生薬の薬理活性の検証 | | |
| | 安田 誠史 | 医療学(予防医学・地域医療学分野) | 高齢者の機能的健康の保持増進に関する疫学研究 地域がん登録の精度管理と資料活用 疫学, 統計学手法の臨床研究への応用 | | |
| | 菅沼 成文 | 医療学(予防医学・地域医療学分野) | 職業環境性呼吸器病学(特に, じん肺の画像分類), 腫瘍マーカーによる悪性中皮腫のスクリーニング, 産業保健(メンタヘルス, 人間工学), 職業環境性アレルギー | | |
| | 小林 道也 | 医療学(医療管理学分野) | 医療安全管理 内視鏡外科における安全管理, 癌の化学療法と安全管理, 感染対策 | | |
| 高尾 俊弘 | 地域看護学 (地域医療学) | ストレスの生体に及ぼす影響に関する研究 酸化ストレスの細胞障害に関する研究 | | | |

〔注〕 については, 医学部医学科又は歯学部以外出身者の受け入れ可能を表します。

情報医療学コース

〔注〕

| コース | 研究指導教員 | 所属講座等 | 主たる研究内容 | 文系 | 理系 |
|----------|--------|--------------------|---|----|----|
| 情報医療学コース | 奥原 義保 | 医学情報センター | 数理統計的な手法や情報科学的な手法を用いた電子化医療情報の解析による医学・医療における研究への活用。 新しい医療情報システムの研究。 | | |
| | 栗原 幸男 | 基礎看護学 (保健医療情報学) | 数理統計的な手法や情報科学的な手法を用いた電子化医療情報の疫学・予防医学研究への活用。 保健・医療・医学教育における情報技術の活用に関する研究。 | | |

〔注〕 については、医学部医学科又は歯学部以外出身者の受け入れ可能を表します。

ただし文系については、経済学系大学院の修士課程で計量経済学，医療経済学などを専攻し，数学的基礎を身に付けた学生に限る。

6 履修方法

生命科学コース

博士課程共通科目 2 単位，専攻内共通科目 6 単位，特別研究科目 10 単位，基礎科目 8 単位以上，専門科目 4 単位以上，合計 30 単位以上を履修するものとします。

ただし，他コースの専門科目を履修した場合は，2 単位を超えない範囲で当該コースの専門科目の単位とすることができます。

なお，教育方法の特例の適用を受ける学生は，専攻内共通科目「医学英語演習」2 単位を基礎科目「細胞分子生物学」2 単位に換えることができます。

医療学コース

博士課程共通科目 2 単位，専攻内共通科目（「生命・医療倫理学」は必修，その他の科目は 3 単位以上選択必修）から 4 単位以上，「特別研究ゼミナール」を除く特別研究科目 8 単位，基礎科目 4 単位以上，専門科目 2 分野 12 単位以上，合計 30 単位以上を履修するものとします。

ただし，他コースの専門科目を履修した場合は，2 単位を超えない範囲で当該コースの専門科目の単位とすることができます。

情報医療学コース

博士課程共通科目 2 単位，専攻内共通科目（「医学英語演習」は選択，「医学統計学」及び「生命・医療倫理学」は必修，その他の科目は履修対象外）の必修科目から 2 単位，特別研究科目 10 単位，基礎科目の必修科目 8 単位，専攻内共通科目及び基礎科目の選択科目と専門科目から 8 単位以上，合計 30 単位以上を履修するものとします。

ただし，他コースの専門科目を履修した場合は，2 単位を超えない範囲で当該コースの専門科目の単位とすることができます。

医療学コースには，上記以外に次のとおり臨床腫瘍学を研究する学問分野があります。

臨床腫瘍学の研究を希望する学生については，「がんプロフェッショナル養成プラン」(下記参照)で選定された「中国・四国広域がんプロフェッショナル養成プログラム - チーム医療を担うがん専門医療人の育成 -」の 臨床腫瘍専門医分野，放射線治療医分野，腫瘍専門外科医分野及び がん専門薬剤師分野について履修することが可能です。なお，いずれの分野も医師免許，薬剤師免許 を取得していることが必須です。(履修方法及び授業科目が上記と異なっていますので，希望者は高知大学医学部・病院事務部学生課でご確認ください。)

『中国・四国広域がんプロフェッショナル養成プログラム』の概要・特色

本プランは，中国・四国 8 つの大学が一つのコンソーシアムを作り，各大学院にメディカル，コメディカルを含む多職種のがん専門職養成のためのコースワークを整備し，これに地域の 26 のがん診療連携拠点病院が連携することにより，広い地域にムラなくがん専門職を送り出すプログラムです。がんに関わる多職種専門職が有機的に連携し，チームとしてがん診療ならびに研究にあたることのできるよう職種間の共通コアカリキュラムの履修を出発点として教育研修を行います。また，国内外のがんセンターと連携し指導的ながん専門医療人養成のファカルティ・ディベロップメントを連動させ，がん専門職養成の教育能力を強化します。こうして専門的臨床能力，チーム医療や臨床研究の能力をともに身につけたがん専門職が数多く輩出されることにより，地域におけるがん治療の均てん化，標準化が期待されるとともに，臨床研究の活性化が期待されます。

詳しくは次のアドレスの HP をご覧下さい。(<http://www.chushiganpro.jp/>)

7 修了要件

原則として、総合人間自然科学研究科医学専攻（博士課程）に4年以上在学し、所定の授業科目について30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格した者に博士（医学）の学位を授与します。

ただし、在学期間に関しては、3年以上在学し、特に優れた研究業績を上げた者については、学位を授与することがあります。

8 入学料、授業料の免除等

(1) 入学料

次のいずれかに該当する者は、入学料を免除されることがあります。

経済的理由によって入学料の納付が困難であり、かつ学業優秀であると認められる者
入学前1年以内に、学資負担者が死亡、又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた者で、入学料の納付が著しく困難であると認められるもの又はこれに準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合。

(2) 授業料（2期に分けて納入）

次のいずれかに該当する者は、授業料を免除されることがあります。

経済的理由によって授業料の納付が困難であり、かつ学業優秀であると認められる者
入学前1年以内に、学資負担者が死亡、又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた者で、授業料の納付が著しく困難であると認められるもの

9 奨学金制度（外国人留学生を除きます。）

日本学生支援機構法に基づき、願い出により、選考の上「大学院第一種奨学金」月額80,000円又は122,000円、「大学院第二種奨学金」月額5万円、8万円、10万円、13万円、15万円からの選択制で、貸与される制度があります。

10 学生教育研究災害傷害保険

この保険は、大学院在学中の実験・実習等の正課、学校行事中及び通学中等に災害事故が起こった場合の補償制度であり、任意加入です。

保険料は、3,370円（4年間分、平成23年度現在）です。

11 総合情報センター（図書館）医学部分館の利用

〔開館時間〕

平日 9:00～20:00, 土曜日 9:00～16:30

日曜・祝日と月末日の午前中休館

〔自動入退館システムによる利用〕

利用申請により図書館閉館後も翌日の午前2時まで利用することができます。

年未年始12月29日から1月3日までは利用できません。

12 アパート・マンション等

アパート・マンション等の住まい紹介を、高知大学生生活協同組合（生協）で取り扱っておりますので、問い合わせてください。

なお、外国人留学生のための国際交流会館（20室）があります。

1 3 修了後の進路状況

昭和 63 年 3 月に第 1 回学位記授与式を挙げて以来、平成 23 年 3 月末現在の医学専攻(博士課程)修了者は 449 人を数えています。

博士課程修了後は、病院勤務医をはじめとして大学教員、国内・国外の研究機関の研究員等、多様な進路があります。

1 4 その他

高知大学医学部(岡豊キャンパス)では敷地内禁煙を実施しております。

別表 授業科目一覧表

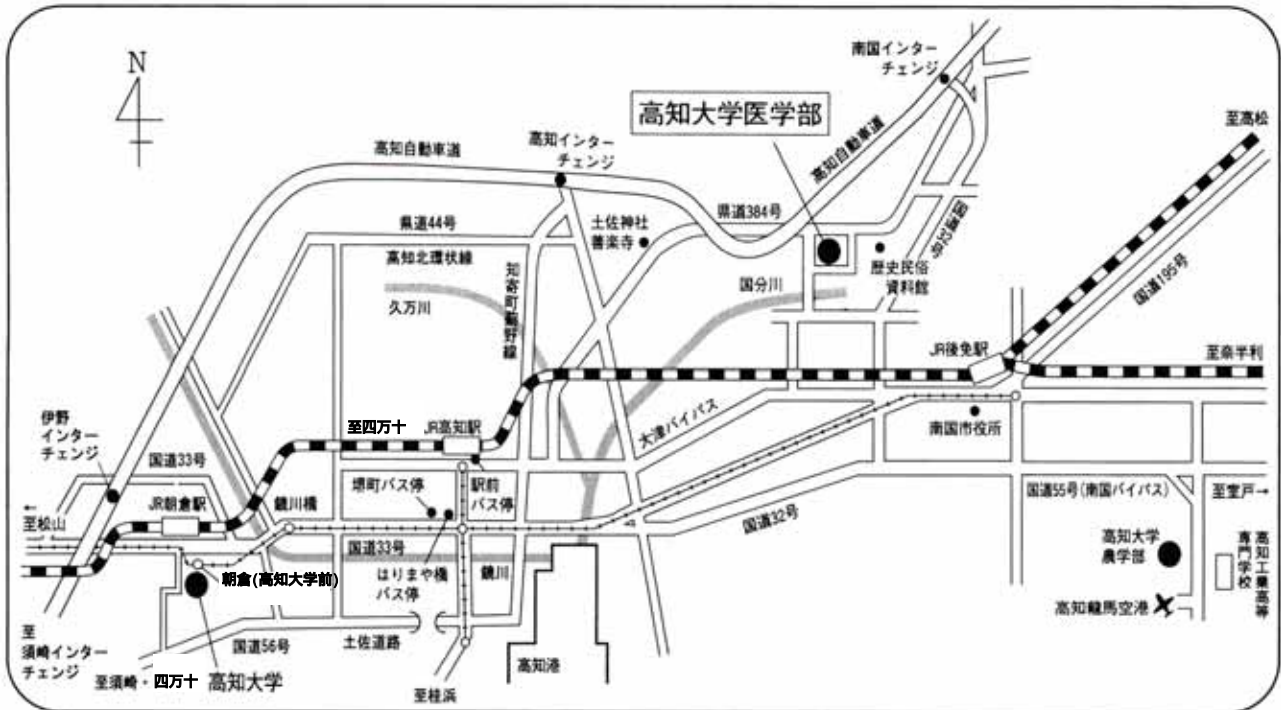
| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 授業形態 | | 備考 | | |
|------------|--------------------|--------------------|-----|----|----|------|----|-------------------------|--------------------|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 講義 | 演習 | | | |
| 博士課程共通科目 | DCセミナ - | 1・2・3・4 | 2 | | | | 2 | | | |
| 専攻内共通科目 | 医学英語演習 | 1 | | 2 | | | 2 | 選択・必修の別は履修方法で各コースごとに示す。 | | |
| | バイオインフォ - マテイクス() | 1 | | 1 | 1 | | | | | |
| | 医学研究法 | 1 | | 1 | 1 | | | | | |
| | 医学統計学 | 1 | | 1 | 1 | | | | | |
| | 生命・医療倫理学 | 1 | | 1 | 1 | | | | | |
| 特別研究科目 | 特別研究計画立案 | 1・2 | 2 | | | | 2 | 生命科学コース、情報医療学コースのみ | | |
| | 特別研究実験・調査 | 1・2 | 2 | | | | 2 | | | |
| | 特別研究ゼミナール | 3・4 | 2 | | | | 2 | | | |
| | 特別研究論文作成 | 3・4 | 2 | | | | 2 | | | |
| | 特別研究論文発表 | 3・4 | 2 | | | | 2 | | | |
| 生命科学コース科目 | 基礎科目 | 細胞分子生物学Ⅰ(英語読解) | 1・2 | | 2 | | | 2 | | |
| | | 細胞分子生物学Ⅱ(英語読解) | 1・2 | | 2 | | | 2 | | |
| | | 基礎神経解剖学実験法 | 1・2 | | 4 | | 1 | 1 | | 2 |
| | | 組織培養実験法 | 1・2 | | 4 | | 1 | 1 | | 2 |
| | | 基礎病理学実験法 | 1・2 | | 4 | | 1 | 1 | | 2 |
| | | 基礎神経生理学実験法 | 1・2 | | 4 | | 1 | 1 | | 2 |
| | | 基礎循環器生理学実験法 | 1・2 | | 4 | | 1 | 1 | | 2 |
| | | 基礎生化学実験法 | 1・2 | | 4 | | 1 | 1 | | 2 |
| | | 基礎分子生物学実験法 | 1・2 | | 4 | | 1 | 1 | | 2 |
| | | 分子生物物理学 | 1・2 | | 2 | | 1 | 1 | | |
| | | 基礎薬理学実験法 | 1・2 | | 4 | | 1 | 1 | | 2 |
| | | 基礎微生物学実験法 | 1・2 | | 4 | | 1 | | | 3 |
| | | 基礎寄生虫学実験法 | 1・2 | | 4 | | 1 | 1 | | 2 |
| | | 基礎免疫学実験法 | 1・2 | | 4 | | 1 | 1 | | 2 |
| | | 基礎生命機能解析法 | 1・2 | | 4 | | 1 | 1 | | 2 |
| | 専門科目 | バイオインフォ - マテイクス() | 1・2 | | 4 | | 2 | 2 | | |
| | | 基礎人獣共通感染症学実験法 | 1・2 | | 4 | | 1 | 1 | | 2 |
| | | 神経系における情報伝達機構 | 1・2 | | 2 | | 1 | 1 | | |
| | | 悪性腫瘍の病理 | 1・2 | | 2 | | 1 | 1 | | |
| | | 神経可塑性の分子機構 | 1・2 | | 2 | | 1 | 1 | | |
| | | 循環制御機構と機能再建 | 1・2 | | 2 | | 1 | 1 | | |
| | | 生体膜における糖鎖機能 | 1・2 | | 2 | | 1 | 1 | | |
| | | 転写制御機構と発癌 | 1・2 | | 2 | | 1 | 1 | | |
| | | 自律神経機能の脳統御機構 | 1・2 | | 2 | | 1 | 1 | | |
| | | 微生物感染の病態と発癌 | 1・2 | | 2 | | 1 | 1 | | |
| | | 寄生虫感染の病態と疫学 | 1・2 | | 2 | | 1 | 1 | | |
| | | Tリンパ球による自己、非自己認識 | 1・2 | | 2 | | 1 | 1 | | |
| 認知・行動の神経機構 | 1・2 | | 2 | | 1 | 1 | | | | |
| 分子生物学 | 1・2 | | 2 | | 1 | 1 | | | | |
| 遺伝子情報解析 | 1・2 | | 2 | | 1 | 1 | | | | |
| 人獣共通感染症 | 1・2 | | 2 | | 1 | 1 | | | | |
| 医療学コース科目 | 基礎科目 | 細胞分子生物学Ⅰ(英語読解) | 1・2 | | 2 | | | 2 | は、生命科学コース科目の再掲を示す。 | |
| | | 細胞分子生物学Ⅱ(英語読解) | 1・2 | | 2 | | | 2 | | |
| | | 基礎神経解剖学実験法 | 1・2 | | 4 | | 1 | 1 | | 2 |
| | | 組織培養実験法 | 1・2 | | 4 | | 1 | 1 | | 2 |
| | | 基礎病理学実験法 | 1・2 | | 4 | | 1 | 1 | | 2 |
| | | 基礎神経生理学実験法 | 1・2 | | 4 | | 1 | 1 | | 2 |
| | | 基礎循環器生理学実験法 | 1・2 | | 4 | | 1 | 1 | | 2 |
| | | 基礎生化学実験法 | 1・2 | | 4 | | 1 | 1 | | 2 |
| | | 基礎分子生物学実験法 | 1・2 | | 4 | | 1 | 1 | | 2 |
| | | 分子生物物理学 | 1・2 | | 2 | | 1 | 1 | | |
| | | 基礎薬理学実験法 | 1・2 | | 4 | | 1 | 1 | | 2 |
| | | 基礎微生物学実験法 | 1・2 | | 4 | | 1 | | | 3 |
| | | 基礎寄生虫学実験法 | 1・2 | | 4 | | 1 | 1 | | 2 |
| | | 基礎免疫学実験法 | 1・2 | | 4 | | 1 | 1 | | 2 |
| | | 基礎生命機能解析法 | 1・2 | | 4 | | 1 | 1 | | 2 |
| | | バイオインフォ - マテイクス() | 1・2 | | 4 | | 2 | 2 | | |
| | | 基礎人獣共通感染症学実験法 | 1・2 | | 4 | | 1 | 1 | | 2 |
| | | 臨床遺伝学 | 1・2 | | 4 | | 1 | 1 | | 2 |
| | | 医療管理学 | 1・2 | | 4 | | 1 | 1 | | 2 |
| | | 医療情報システム学 | 1・2 | | 4 | | 2 | 2 | | |
| | | 臨床心理学 | 1・2 | | 4 | | 1 | 1 | | 2 |
| | | 社会医学特論 | 1・2 | | 1 | | 1 | | | |
| | | 疫学研究法 | 1・2 | | 3 | | 1 | | | 2 |
| ヘルスケアシステム論 | 1・2 | | 3 | | 1 | | 2 | | | |

| 科目 区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 授業形態 | | | 備考 |
|--------------------------|------------------------|----------------|-------|----|----|------|----|----|----|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 講義 | 演習 | 実習 | |
| 医療学コース科目 臨床研究・臨床技術系科目 | 1. 消化器分野 | 消化器病学 | 1・2・3 | | 3 | | 1 | | 2 |
| | | 肝臓病学 | 1・2・3 | | 3 | | 1 | | 2 |
| | | 消化器外科学 | 1・2・3 | | 3 | | 1 | | 2 |
| | 2. 内分泌代謝分野 | 内分泌代謝病学 | 1・2・3 | | 3 | | 1 | 1 | 1 |
| | | 糖尿病学 | 1・2・3 | | 3 | | 1 | 1 | 1 |
| | | 生活習慣病 | 1・2・3 | | 3 | | 1 | 1 | 1 |
| | 3. 腎泌尿器分野 | 腎臓病学 | 1・2・3 | | 3 | | 1 | 1 | 1 |
| | | 泌尿器科学 | 1・2・3 | | 3 | | 1 | | 2 |
| | 4. 血液・造血器分野 | 血液病学 | 1・2・3 | | 3 | | 1 | | 2 |
| | | 輸血・細胞治療学 | 1・2・3 | | 3 | | 1 | | 2 |
| | 5. 呼吸器分野 | 呼吸器病学 | 1・2・3 | | 3 | | 1 | | 2 |
| | | 呼吸器外科学 | 1・2・3 | | 3 | | 1 | 1 | 1 |
| | 6. 循環器・老年病分野 | 循環器病学 | 1・2・3 | | 3 | | 1 | | 2 |
| | | 老年病学 | 1・2・3 | | 3 | | 1 | | 2 |
| | | 心臓血管外科学 | 1・2・3 | | 3 | | 1 | | 2 |
| | 7. 皮膚・免疫・アレルギー分野 | 皮膚科学 | 1・2・3 | | 3 | | 1 | | 2 |
| | | アレルギー学 | 1・2・3 | | 3 | | 1 | | 2 |
| | | 臨床免疫学 | 1・2・3 | | 3 | | 1 | | 2 |
| | 8. 脳・神経分野 | 脳神経外科学 | 1・2・3 | | 3 | | 1 | | 2 |
| | | 神経内科学 | 1・2・3 | | 3 | | 1 | | 2 |
| | 9. 小児科分野 | 小児科学 | 1・2・3 | | 3 | | 1 | | 2 |
| | | 成育医療概論 | 1・2・3 | | 3 | | 1 | | 2 |
| | | 小児神経学 | 1・2・3 | | 3 | | 1 | | 2 |
| | | 新生児学 | 1・2・3 | | 3 | | 1 | | 2 |
| | | 小児感染症学 | 1・2・3 | | 3 | | 1 | | 2 |
| | | 小児血液・腫瘍学 | 1・2・3 | | 3 | | 1 | | 2 |
| | | 思春期心身医学 | 1・2・3 | | 3 | | 1 | | 2 |
| | | 小児腎臓病学 | 1・2・3 | | 3 | | 1 | | 2 |
| | | 小児アレルギー学 | 1・2・3 | | 3 | | 1 | | 2 |
| | | 小児循環器学 | 1・2・3 | | 3 | | 1 | | 2 |
| | 10. 精神科分野 | 精神科学 | 1・2・3 | | 3 | | 1 | | 2 |
| | | 心身医学 | 1・2・3 | | 3 | | 1 | | 2 |
| | 11. 運動器分野 | 整形外科 | 1・2・3 | | 3 | | 1 | | 2 |
| | | 脊椎脊髄病学 | 1・2・3 | | 3 | | 1 | 2 | |
| | | 運動器リハビリテーション医学 | 1・2・3 | | 3 | | 1 | | 2 |
| | 12. 生殖器分野 | 産婦人科学 | 1・2・3 | | 3 | | 1 | 2 | |
| | | 生殖医療学 | 1・2・3 | | 3 | | 1 | 2 | |
| | | 婦人科腫瘍学 | 1・2・3 | | 3 | | 1 | 2 | |
| | | 骨盤内視鏡手術 | 1・2・3 | | 3 | | 1 | | 2 |
| | | 加齢医学 | 1・2・3 | | 3 | | 1 | 1 | 1 |
| | 13. 眼・視覚分野 | 眼科学 | 1・2・3 | | 3 | | 1 | | 2 |
| | | 眼部マイクロ手術学 | 1・2・3 | | 3 | | 1 | | 2 |
| | | レーザー医療学 | 1・2・3 | | 3 | | 1 | | 2 |
| | | 眼免疫学 | 1・2・3 | | 3 | | 1 | | 2 |
| 14. 耳鼻・咽喉科分野 | 耳鼻咽喉科学 | 1・2・3 | | 3 | | 1 | | 2 | |
| | 神経耳科学 | 1・2・3 | | 3 | | 1 | | 2 | |
| | 鼻科学 | 1・2・3 | | 3 | | 1 | | 2 | |
| | 頭頸部感覚器外科学 | 1・2・3 | | 3 | | 1 | | 2 | |
| 15. 口腔外科分野 | 口腔外科学 | 1・2・3 | | 3 | | 1 | | 2 | |
| | 口腔内科学 | 1・2・3 | | 3 | | 1 | | 2 | |
| | 口腔腫瘍学 | 1・2・3 | | 3 | | 1 | | 2 | |
| 16. 麻酔科分野 | 麻酔学 | 1・2・3 | | 3 | | 1 | | 2 | |
| | 集中治療学 | 1・2・3 | | 3 | | 1 | | 2 | |
| 17. 放射線医学分野 | 放射線生物学 | 1・2・3 | | 3 | | 1 | | 2 | |
| | 放射線診断学 | 1・2・3 | | 3 | | 1 | | 2 | |
| | 放射線腫瘍学 | 1・2・3 | | 3 | | 1 | | 2 | |
| 18. 再建医学分野 | 人工臓器移植外科学 | 1・2・3 | | 3 | | 1 | | 2 | |
| | 人工臓器 | 1・2・3 | | 3 | | 1 | | 2 | |
| | 人工関節学 | 1・2・3 | | 3 | | 1 | | 2 | |
| | 人工水晶体学 | 1・2・3 | | 3 | | 1 | | 2 | |
| | 人工内耳・中耳移植学 | 1・2・3 | | 3 | | 1 | | 2 | |
| | 移植免疫学概論 | 1・2・3 | | 3 | | 1 | | 2 | |
| | ブレイク マシン インターフェイス(BMI) | 1・2・3 | | 3 | | 1 | | 2 | |
| 神経再生医療 | 1・2・3 | | 3 | | 1 | | 2 | | |
| 19. 悪性腫瘍学分野 | ヒト癌の診断と集中治療学 | 1・2・3 | | 3 | | 1 | | 2 | |
| | 腫瘍の増殖と制御 | 1・2・3 | | 3 | | 1 | | 2 | |
| 20. 検死診断学分野 | 法医診断学 | 1・2・3 | | 3 | | 1 | | 2 | |
| | 中毒法病理学 | 1・2・3 | | 3 | | 1 | 2 | | |
| | 外傷法病理学 | 1・2・3 | | 3 | | 1 | 2 | | |
| 21. 薬物治療学分野 | 薬物治療学 | 1・2・3 | | 3 | | 1 | | 2 | |
| 22. プライマリ・ケア分野 | プライマリ・ケア医学 | 1・2・3 | | 3 | | 1 | | 2 | |
| 23. 病理専門医分野 | 病理診断学 | 1・2・3 | | 3 | | 1 | | 2 | |
| 24. 臨床検査分野 | 臨床化学 | 1・2・3 | | 3 | | 1 | | 2 | |
| | 臨床生理学 | 1・2・3 | | 3 | | 1 | | 2 | |
| | 臨床微生物学 | 1・2・3 | | 3 | | 1 | | 2 | |

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 授業形態 | | | 備考 | | | | |
|--------------|-----------------|------------------|---------------|-------------|-----|------|----|----|----|---|---|---|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 講義 | 演習 | 実習 | | | | | |
| 医療学コース科目 | 共通検査・診断医学系科目 | 1. 臨床生理診断分野 | 臨床生理診断学 | 1・2・3 | | | | 1 | | 2 | | | |
| | | 2. 感染対策分野 | 感染症・感染制御概論 | 1・2・3 | | | | 3 | 1 | | 2 | | |
| | | | 細菌・真菌感染症学 | 1・2・3 | | | | 1 | 1 | | | | |
| | | 3. 画像診断分野 | ウイルス感染症学 | 1・2・3 | | | | 1 | 1 | | | | |
| | | | 画像診断学 | 1・2・3 | | | | 3 | 1 | | | 2 | |
| | | 4. 内視鏡診断分野 | 消化器内視鏡学 | 1・2・3 | | | | 3 | 1 | | | 2 | |
| | | | 呼吸器内視鏡学 | 1・2・3 | | | | 3 | 1 | | | 2 | |
| | | 5. 内視鏡手術分野 | ドライラボ | 1・2・3 | | | | 3 | 1 | | | 2 | |
| | | | ウェットラボ | 1・2・3 | | | | 3 | 1 | | | 2 | |
| | | | シミュレーション | 1・2・3 | | | | 3 | 1 | | | 2 | |
| | | 6. マイクロ手術分野 | 四肢マイクロ手術学 | 1・2・3 | | | | 3 | 1 | | | 2 | |
| | | | 頭頸部マイクロ手術学 | 1・2・3 | | | | 3 | 1 | | | 2 | |
| | | | 皮膚マイクロ手術学 | 1・2・3 | | | | 3 | 1 | | | 2 | |
| | | 7. 核医学・IVR分野 | 臨床核医学 | 1・2・3 | | | | 3 | 1 | | | 2 | |
| | IVR | | 1・2・3 | | | | 3 | 1 | | | 2 | | |
| | 専門科目 | 1. 予防医学分野 | 環境保健学 | 1・2 | | | | 3 | 1 | 1 | 1 | | |
| | | | 臨床中毒学 | 1・2 | | | | 3 | 1 | 1 | 1 | | |
| | | | リスク評価・制御論 | 1・2 | | | | 3 | 1 | 1 | 1 | | |
| | | | 2. 疫学・情報解析学分野 | 疫学 | 1・2 | | | | 3 | 1 | | | 2 |
| | | | | 保健医療福祉情報解析学 | 1・2 | | | | 3 | 1 | 2 | | |
| | | 3. 産業保健学分野 | 産業保健学 | 1・2 | | | | 3 | 1 | 1 | 1 | | |
| 4. 地域保健医療学分野 | | | 地域保健福祉システム論 | 1・2 | | | | 3 | 1 | | | 2 | |
| | | 医療・介護保険と年金論 | 1・2 | | | | 3 | 1 | | | 2 | | |
| | | 高齢者保健医療介護論 | 1・2 | | | | 3 | 1 | | | 2 | | |
| 5. 看護学分野 | | 高齢者看護学 | 1・2 | | | | 3 | 1 | 2 | | | | |
| | 自己概念と看護介入 | 1・2 | | | | 3 | 1 | 2 | | | | | |
| | 家族看護学特論 | 1・2 | | | | 3 | 1 | 1 | 1 | | | | |
| 情報医療学コース科目 | 基礎科目 | 情報医療学基礎論 | 1 | | | | 2 | 1 | 1 | | | | |
| | | 動的病態力学 | 1 | 2 | | | | 1 | 1 | | | | |
| | | 動的病態力学 | 2 | 2 | | | | 2 | | | | | |
| | | バイオインフォ・マティクス() | 1・2 | 4 | | | | 2 | 2 | | | | |
| | | 医療情報システム学 | 1・2 | | | | 4 | 2 | 2 | | | | |
| 専門科目 | 情報医療学のためのパターン認識 | 2 | | | | 2 | 1 | 1 | | | | | |

イは生命科学コース科目、ロは医療学コース科目の再掲を示す。

高知大学医学部(岡豊キャンパス)案内図



◎検査場：高知大学医学部 岡豊キャンパス (南国市岡豊町小蓮)

[交通アクセス]

J Rで来られる方へ

| | |
|------------|--|
| J R 高知駅 | 高知県交通バス(奈路, 領石, 南国オフィスパーク, 田井, かもはら, 歴史民俗資料館, 医大病院 行きに乗車)・医大病院下車……………▶ (時間約 25 分, 料金 560 円) |
| | タクシー 時間約 20 分, 料金約 2,500 円 ……………▶ |

| | |
|-------------------|-----------------------------------|
| J R ごめん 後免駅 | タクシー 時間約 10 分, 料金約 1,500 円 ……………▶ |
|-------------------|-----------------------------------|

高知市内よりバスで来られる方へ

| | |
|-------|--|
| はりまや橋 | 土佐電気鉄道バス (「医大」行きに乗車)・医大病院終点下車……………▶ (時間約 30 分, 料金 500 円) |
| | 高知県交通バス(奈路, 領石, 南国オフィスパーク, 田井, かもはら, 歴史民俗資料館, 医大病院 行きに乗車)・医大病院下車 ……▶ (時間約 30 分, 料金 560 円) |
| | タクシー 時間約 20 分, 料金約 2,700 円 ……………▶ |

航空機で来られる方へ

| | |
|------------|---|
| 高知龍馬 空港 | 空港連絡バス……………▶ 「J R 高知駅」 (あと①に同じ) (時間約 45 分, 料金 700 円) |
| | 空港連絡バス……………▶ 「はりまや橋」 (あと②に同じ) (時間約 45 分, 料金 700 円) |
| | タクシー 時間約 30 分, 料金約 3,200 円 ……………▶ |

高知大学医学部(岡豊キャンパス)

【高知大学医学部 岡豊キャンパス 配置図】

